



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2020年10月 vol.11

秋の夜長いかがお過ごしでしょうか。

9月に9冊、オアシス文庫に新しく本が増えました。

Oasis meets Booksで紹介いただいた本・職員から希望があった本を購入しています。

世間では『withコロナ』という言葉が使われています。悲観的になるのではなく、プラスに捉え、時間がとれた時こそ本を活用してみたいはかがでしょうか。(委員長:前田 吉紀)

## 口のきき方で介護を変える! / 粟倉 敏貴

### 特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 曾根 浩一

皆さん、介護の現場において、コミュニケーションの大切さに気付かされた機会を何度かお持ちの事と思います。また、「どのようにお伝えすればよいか」「どのような話し方をすればよいか」等、日々悩んでいる方もいらっしゃるかと思います。



ご紹介する書籍は、介護・福祉職員のみならず、ケアマネジャーまでを対象とした「人と人との会話」によって介護関連の仕事を円滑に進めるための、実用的な参考書です。

本書では、肩の力を抜き、自分の本質から発する自然な言葉で表現しながらご利用者様やご家族様、介護従事者等と、良好なコミュニケーションを図っていくことを説いています。

介護支援現場での重要な言葉を、会話実例に盛り込みながら解説していますので、ご興味のある方は是非ご一読下さい。



・次回⇒ グループホーム オアシスきずり / 介護士 浦一希

## ふるさと銀河線 軌道春秋 / 高田 郁

### ヘルパーステーション オアシス / サービス提供責任者 中尾 実加

この本は、駅・電車・車窓からの風景など“鉄道”に絡めた人間模様を綴った9編の短編集です。ほっこりしたり、身につまされたり…「辛いことも悲しいことも悩ましいことも多いけれど、どこかにきつと救いがある」と、読み終えたあとに、胸の中の不安が静かに落ち着いていくような…そんな気持ちになれる1冊です。



日々の生活の中で少し疲れを感じた時、何度も何度も読み返して、「私も明日からまた一歩進んでみよう」と、元気をもらっています。

作者自身もあとがきの中で「生きにくい時代だけれど、どこか遠くにある幸福を信じていたい」と書かれているように、何かとストレスの多い今の社会の中で「つらいのは自分だけじゃない。みんな何かを信じて、前を向いて自分なりに精一杯生きているんだ」と、そっと優しく教えてくれる…そんな作品です。

・次回⇒ 管理本部 総務部 / 公文 道子

## 君を読む / 蒼井ブルー

### 特養オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 江口 志生

文筆家であり写真家でもある蒼井ブルーが書き下ろした、恋をした時に誰もが感じる温かい気持ち、楽しい気持ち、切ない気持ち、苦しい気持ち、優しい気持ちを、小さな言葉の中に詰め込んだ一冊の本です。



女優・モデルの飯豊まりえをイメージモデルとして、作者が撮り下ろしたこともこの本の特徴です。まるで「恋空」のような、恋愛をテーマにしたケータイ小説を読んでいるような感覚を味わえる、あるいは島崎藤村の「初恋」のような、恋愛に関する詩の本であります。私は恋愛未経験ですが、この本を読むと、恋愛をしたくなると感じます。



新型コロナウイルス感染拡大防止により、県をまたぐ等の外出を控えなければならない今だからこそ、遠くにいる彼氏に恋愛し続けたい女性や、彼女に恋愛し続けたい男性、そして、私のように恋愛未経験の男女に是非読んでいただきたいと思います。

・次回⇒ 特養オアシス寿安 生活支援課 / 副主任 山田 真司

## 猫バカとバカ猫 R.I.P. ありがとうスケキヨ! / によーたるー

### 営業本部 営業企画部 / 羽田 邦男

私がご紹介するのは、SNSで話題になった猫の本です。(@はTwitterのアカウントです。)飼い主は若い男性。スケキヨと名づけた猫が変顔をするので、ブログにアップしたら大人気となり、なんと書籍化。スケキヨは夭折しましたが、その後ヨタハチ&ひふみを迎え入れブログからTwitterへ移行し、さらに人気が出ました。ヨタハチ&ひふみも順番に虹の橋へ。でもケツサクが新たに仲間入り。猫バカの愛は続きます。@sukeiyotafumi



さらに、どうしても紹介したい3冊をご紹介します。【俺、つしま】絵を兄が、文を妹が担当する「おぶうのきょうだい」の作品で、猫の表情がリアルでかわいくて話題です。@tsushimacat 【ベン太のこと】ネットで数百万人が泣いたと言われる作品です。@katakura\_shinji

【夜廻り猫】人気マンガ家の深谷かほるさんがTwitterで始めた名作です。@fukaya91

どの作品も愛にあふれ心に響きます。SNSに感謝です。

・次回⇒ 特養オアシス寿安 総務課 / 主任 岡田 光広

## 齋藤一人の道は開ける / 永松 茂久

老健オアシス デイケア・ロング / 介護士 高山 翔太

タイトルになっている、齋藤一人氏は日本歴代1位の所得税納税者で「スリムドカン」で有名な銀座まるかんの創業者です。

この本には著者の永松氏が齋藤氏と出会い、経営者として、1人の人間として成長していく姿が書かれています。

自分の道を開くためには、今までの自分自身の考え方を換え、自分の目の前の人を大切に、今できることをやる、という一見当たり前の事が書かれており、「笑顔・うなずき・ハッピーな言葉」と、わかっているもなかなかできないことを大切にすると、うまくいき、自分だけでなく、周りの人を笑顔にできると書かれています。

本書は、いきなり高い目標を目指す、よくある自己啓発本ではなく、本当にやればできることからクリアしていく、という易しい内容になっている事、筆者の実体験をもとに書かれている事から、とても理解しやすく飲み込みやすい内容になっています。

この一冊をバイブルとし、1人の人間として成長し、また周りの人を幸せにできる人間になろうと感じました。



・次回⇒老健オアシス デイケア・ショート / 柔道整復師 伊藤 孝二

## PERSONA 最終章 / 鬼海 弘雄

営業本部 営業企画部 / 西田 陽子

1973年から45年間、浅草・浅草寺境内で無名の一般市民のポートレイトを撮り続けている写真家、鬼海弘雄さんのシリーズ完結編の写真集です。

『銀ヤンマのような娘』とタイトルを付された表紙の写真は、丈の短いドレスに、頭の両サイドに留められたリボン、大きなサングラスの少女がこちらを見据えている強烈な印象の一枚です。

撮影場所は東京・浅草の浅草寺で、境内で撮りたいと感じる人をひたすら待ち、何千人もの人が行き交う、その中から日に1人が2人に声をかけ境内の朱色の壁を背景に撮影しているそうです。

職人、老人、学生、主婦、失業者、職業不詳者、どの人物も個性が際立ち、エキセントリックだけれど、どこかつかしさを感ぜさせる、そんな肖像の数々。全編とても美しいモノクロプリントで構成されています。何度も見返してしまう一冊です。



・次回⇒特養オアシス寿安 地域連携課 / 課長 井中 雅美

## 佐賀のがばいばあちゃん / 島田 洋七

グループホーム オアシス平野 / 介護士 松本 由美

芸人の島田洋七さんが、少年時代に祖母と暮らした時の出来事を書いた小説です。毎年、運動会の日に梅干し弁当を持ってくる少年に対し「腹痛なので弁当を換えて欲しい」と頼んでくる先生の事を「がばいばあちゃん」

が知り、「人に気付かれないのが本当の親切、本当の優しさ」と言います。いくつもある名言の中の1つですが、とても印象に残っています。

「がばいばあちゃん」ほどの名言ではないですが、私の母もそういう事をよく言っていました。

「遅すぎた」って事があっても、「早すぎた」って事はない」「この世の事はこの世で解決できるから、あの世に持っていくな」など、子どもの頃の私は「はい、はい。」と聞き流すように、生返事で返していました。

しかし、今では私が自分の子どもに対して、同じことを言っています。

亡き母の言葉(名言)を…。(笑)



・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 荒田 まゆみ

## オアシス文庫 recommend



雑談がおもしろい人、  
つまらない人  
／ 渡辺 龍太

皆さんは、「雑談のおもしろさ」って、何で決まっていると思いますか？

「話の内容」？「頭の回転」？「口のうまさ」？ 実は、どれも違います。

この本の冒頭です。ここでいう「雑談」は、いわゆるオフの時の会話というよりも「コミュニケーション能力(コミュカ)」と言ってもいいでしょう。会社で出世する人、周りの信頼を得られる人の中には(ちょっと傲慢な言い方ですが)「なんであの程度の実力の人が!？」と思う事もあります。その場合は間違いなく「コミュカ勝負」で勝っています、と筆者は言います。コミュカを駆使して、様々な人々と信頼関係や人脈を築き上げ、自分の実力以上の成果を上げて、成功しているのです。

では、人生を実力勝負から「コミュカ勝負」に持ち込むには？

その答えが「雑談」です。「雑談」には様々なコツやツボがあるようです。放送作家であり、「即興力(インプロ)養成講師」でもある筆者が、「話ベタでも、ラクに話せる」「内容問わず話が盛り上がる」「誰とでも会話が途切れない」、そんな「インプロ会話術」を教えてくれる1冊です。

(教育委員会: 田村 英靖)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出できます▶



## 編集後記

暑い暑い夏が過ぎ、ようやく過ごしやすくなってきました。巡り来る寒い季節に向け、体調を整え、経験を活かして物の準備、心の準備に取りかかりたいです。教育委員会として、多くの方にオアシス文庫をご利用いただく

ことを願っていますが、そうなれば、本が多くの方の手をわたることにもなります。ご利用の際は、しっかり手洗いの上、お手にとっていただきますようご協力をよろしくお願いいたします。



(教育委員会: 中島美和子)